

タブック 2015 昆虫類. URL: <https://www.pref.kyoto.jp/kankyo/mokuroku/bio/insect.html> (閲覧: 2023年8月28日)

柴田剛, 2021. 小野市でキマダラコヤガを確認. きべりはむし, 44(1):94

高島昭, 2003. 兵庫県のコヤガ亜科. きべりはむし, 31(1):81-95

手塚浩, 2019. 蝶屋の楽蛾記 (V). 大昆 Crude, 63:6-11

(Shunsuke TOMURA 徳島県立博物館)

(Kazushige UEMORI 九州大学大学院生物資源環境科学府)



図1. 姫路市産アカマダラハナムグリ.

【標本記録】1♂, 兵庫県姫路市石倉 (姫路市石倉峯相の里), 11-V-2024, 花房高志採集・保管 (図1).

姫路市内でアカマダラハナムグリを採集

花房高志・榮藤巨輝・宮下直也

アカマダラハナムグリ *Anthracophora rusticola* Burmeister, 1842 はコガネムシ科の昆虫で, 幼虫が大型の鳥類の巣に依存するなど生息環境が特殊な希少種であることから, 環境省のレッドリスト (環境省, 2020) では情報不足, 兵庫県版レッドリスト (兵庫県, 2022) ではAランクに選定されている. 兵庫県内では, 加古川市 (柴田, 2018), 淡路市 (久保, 2012), 加東市 (山本, 2010) などの比較的新しい記録に加え, 古くは洲本市, 神戸市, 西宮市, 川西市, 旧氷上郡, 旧一宮町, 旧但東町, 旧出石町などで採集例があるが (高橋, 1984), これまで姫路市内での生息は確認されていない. 今回, 姫路市初記録であると思われる本種を採集したので報告する.

2024年5月11日午前11時頃, 姫路科学館の教育普及活動事業であるサイエンスエキスパート講座「昆虫の達人」の活動中に, クヌギの幹の樹皮の隙間に頭を突っ込んで樹液を吸っているオス1個体を発見した. 手に取って確認すると, 体表には若干のスレが見られたことから, 越冬個体であると考えられた. 本種を発見したクヌギは5月中旬であるにも関わらず, 周囲の広葉樹の中でもひときわ多く樹液を出しており, 本種の他にもコクワガタやヨツボシオオキスイが集まっていた. 展足後に体長を測定すると20.2mmあり, 本種としては大型の個体であった.

最後に, 施設内での昆虫採集について許可をいただきました姫路市石倉峯相の里の皆様にご礼申し上げます.

○引用文献

環境省, 2020. 環境省レッドリスト2020, (<https://www.env.go.jp/press/107905.html>).

久保弘之, 2012. 淡路島でアカマダラコガネを採集. きべりはむし, 35(1):43.

柴田剛, 2018. 兵庫県加古川市でアカマダラハナムグリを採集. きべりはむし, 41(1):28

高橋寿郎, 1984. 兵庫県のハナムグリ. てんとうむし, 219:8

兵庫県, 2022. 兵庫県版レッドリスト2022 (昆虫類), (https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg_240/leg_289/2022).

山本勝也, 2010. アカマダラコガネ加東市での採集例. きべりはむし, 32(2):39.

(Takashi HANAFUSA 兵庫県姫路市)

(Koki ETO 甲南大学 自然科学研究科)

(Naoya MIYASHITA 姫路科学館)